

2008年岩手・宮城内陸地震に伴う災害被害状況等

平成20年7月3日14:00現在
 岩手県総合防災室
 (総合防災室 内線5162)

災害被害状況

区 分		数 量 ・ 被 害 額				担 当 部 課 等	
人的被害	死 者	2 人				地域福祉課(内線 5421)	
	重 傷 者	9 人					
	軽 傷 者	28 人					
住家被害	全 壊	1 棟	1 世帯				千円
	半 壊	3 棟	3 世帯				千円
	一 部 破 損	358 棟	350 世帯		600		千円
	床 上 浸 水	棟	世帯				千円
	床 下 浸 水	棟	世帯				千円
	計	362 棟	354 世帯		600		千円
非 住 家 被 害		13 棟					37,323 千円
農業関係被害	農 業 施 設	63 件				223,927 千円	
	農 作 物 等	87.1 ha				19,211 千円	
	畜 産 関 係	kg	4 頭羽			323 千円	
	農地農業用施設	799 箇所				2,115,000 千円	
	計					2,358,461 千円	
林業関係被害	林 業 施 設 被 害	303 箇所				1,424,383 千円	
	林 産 物 被 害					32,450 千円	
	森 林 被 害	58.3 ha				100,542 千円	
	林 野 荒 廃	43 箇所				6,794,279 千円	
	計					8,351,654 千円	
水産関係被害	水 産 施 設	箇所				千円	
	漁 船	隻				千円	
	漁 具	箇所				千円	
	養 殖 施 設	台				千円	
	水 産 物	kg			1,000	千円	
	計				1,000	千円	
漁港関係被害	調査率 100%	箇所				千円	
土木施設被害	河 川	42 箇所				1,420,000 千円	
	道 路	346 箇所				11,393,300 千円	
	橋 梁	38 箇所				3,374,000 千円	
	砂 防	5 箇所				577,000 千円	
	公 園	1 箇所				2,000 千円	
	海 岸	箇所				千円	
	港 湾	箇所				千円	
	下 水 道	3 箇所			110,400	千円	
計	435 箇所			16,876,700	千円		
学 校 等 被 害		155 校				228,834 千円	
消 防 施 設 被 害		2 箇所				700 千円	
庁 舎 等 被 害						10,467 千円	
社 会 教 育 ・ 体 育 ・ 文 化 施 設 被 害						180,366 千円	
社 会 福 祉 施 設 被 害						10,175 千円	
観 光 施 設 被 害		37 箇所				856,863 千円	

医療衛生施設被害	上水道	13箇所	48,149千円	環境生活企画室(内線 5327)
	簡易水道	21箇所	454,390千円	
	医療施設	16箇所	48,783千円	医療国保課(内線 5427)・医療局
	衛生施設	2箇所	550千円	環境生活企画室(内線 5327)
	計	52箇所	551,872千円	
商工関係被害	商業関係	185箇所	107,579千円	商工企画室(内線 5528)
	工業関係	125箇所	119,207千円	
	計		226,786千円	
文化財関係被害	41箇所	12,520千円	教育委員会事務局教育企画室(内線 6108)	
電力関係被害		51,630千円	環境生活企画室(内線 5327)・企業局	
鉄道関係被害		千円	地域企画室(内線 5203)	
高圧ガス施設等被害	箇所	千円	総合防災室(内線 5556)	
公営住宅等被害		千円	県土整備企画室(内線 5850)	
船舶被害	隻	千円	総合防災室(内線 5153)	
工業用水道被害		千円	企業局経営総務室(内線 6379)	
鉄道関係被害		千円	地域企画室(内線 5203)	
通信関係被害		千円	地域企画室(内線 5203)	
(予備 1)		千円		
(予備 2)		千円		
(予備 3)		千円		
計		29,755,951千円		

住民等の被害

- (1) 人的被害 : 死亡2名、負傷37名
- ・ 奥州市 死亡 1名、負傷 32名
 - ・ 一関市 死亡 1名、負傷 2名
 - ・ 藤沢町 負傷 1名
 - ・ 平泉町 負傷 1名
 - ・ 花巻市 負傷 1名

(2) 住家被害

市町村	被害棟数	被害状況
奥州市	206棟	半壊(1)、一部損壊(205)
一関市	117棟	全壊(1)、半壊(2)、一部損壊(114)
花巻市	3棟	一部損壊(3)
金ケ崎町	25棟	一部損壊(25)
平泉町	2棟	一部損壊(2)
北上市	3棟	一部損壊(3)
西和賀町	6棟	一部損壊(6)
合計	362棟	

避難の状況

区分	避難勧告実施		自主避難		避難施設
	世帯数	人員	世帯数	人員	
奥州市	2	4	9	18	
避難所	1	1			高齢者生活支援ハウス
親戚宅等			4	10	衣川荘
その他の施設	1	3	5	8	民間賃貸住宅(個人で借受け)
一関市	23	69			
避難所	10	41			蔵美公民館山谷分館
親戚宅等	13	28			
計	25	73	9	18	

6月25日12:00に、本寺小学校体育館から蔵美公民館山谷分館に避難先を変更完了

各部局における対応状況の特記事項【平成20年7月3日16時現在】

部 局 名	部局における対応状況
環境生活部 (環境生活企画室) 内線 5327	現在、未復旧となっているのは、一関厳美・萩荘簡易水道の26戸のみとなっている。 (断水世帯住民は避難所等へ避難中)
保健福祉部 (保健福祉企画室) 内線 5409	<p>【被災地住民の「こころのケア」について】</p> <p>(1) 一関市に保健師を派遣(1日2名、延べ24人、期間6月18日から6月29日 まで)し、一関保健所及び一関市と連携しながら、避難住民の健康相談を行うとともに、被災地住民の「こころのケア」のため家庭訪問等を実施。</p> <p>(2) 奥州市に保健師を派遣(1日1名～4名、延べ20人、期間6月25日から7月4日までの予定)し、奥州保健所及び奥州市と連携しながら、被災地住民の「こころのケア」のため家庭訪問等を実施。</p> <p>(3) 精神保健福祉センターが、被災地住民の「こころのケア」のため、現場での関係機関との調整を行いながら、家庭訪問などを実施。</p> <p>また、教育委員会からの要請を受け、県外の児童精神科医とともに、地元小学校等に入り、児童の心のケアへの支援活動を実施している。</p> <p>【公費負担医療費の減免等について】 岩手県が実施主体となっている、公費負担医療費の減免措置を行う。</p> <p>1 対象となる公費負担医療</p> <p>小児慢性特定疾患治療研究事業 (いわゆる小児難病患者の入院・通院医療費の助成) 自立支援医療費(育成医療) (身体に障害がある児童の入院・通院医療費の助成) 養育医療給付事業 (未熟児の入院医療費の助成) 特定疾患治療研究事業 (難病患者の入院・通院医療費の助成) 自立支援医療費(精神通院医療) (精神障害者の通院医療費の助成)</p> <p>2 減免の対象者 次のいずれかに該当する者 家屋が全壊又は半壊した者 被災により平成20年の所得が著しく減少すると見込まれる者</p> <p>3 減免の方法 家屋損壊及び所得の減少額に応じ、患者等の自己負担限度額を引き下げることにより減免する。</p> <p>4 減免の期間 平成20年7月1日の診療分から最大平成21年9月30日の診療分まで(制度により終期が異なること。)</p>
商工労働観光部 (商工企画室) 内線 5527	<p>【観光施設】</p> <p>旅館・ホテル等の営業休止の状況 須川温泉(一関市) 真湯山荘(一関市) 祭時温泉「かみくら」(一関市) ひめかゆ温泉「クアパークひめかゆ」(奥州市) 営業再開は8月頃の予定 国見平温泉(奥州市) 以上の施設以外は、通常営業中である。</p> <p>【地震被害対策】</p> <p>1 中小企業者等への相談窓口の設置(6月16日～) 地震で被災された中小企業者の復旧・復興を支援するため、県庁経営支援課、県南広域振興局、関係機関(商工会議所、商工会等)に相談窓口を設置し、相談業務を行っている。</p> <p>2 金融支援 風評被害等により経営が不安定な中小企業者に対して、「中小企業安定資金」などの利用を進めるとともに、災害救助法の適用を受けた市町村区域において、罹災した中小企業者が利用できる低利の「中小企業災害復旧資金」について、6月議会定例会での提案を準備している。</p> <p>3 観光施設等に対する風評被害対策 観光施設の被害や復旧状況等について、災害直後に岩手県ホームページ「緊急・災害情報」中、「岩手・宮城内陸地震に伴う観光情報」として掲載(岩手県ポータルサイト「岩手の旅」トップページにリンク)するとともに、全国規模のイベントの場において正確な情報提供を行っている。</p>

<p>農林水産部 〔農林水産企画室〕 内線 5621</p>	<p>1 農作物(農家等支援)関係 (1) 農業改良普及センターによる農家への個別巡回や、緊急技術情報の配布などによる水田の漏水防止、節水対策等の技術指導の実施 (2) 農林漁業金融公庫等金融機関に対する資金の円滑な融通、既貸付金の償還猶予等の協力要請 (3) 県南広域局及び一関支局への融資相談窓口の設置、災害対応資金の周知 (4) 各農業共済組合に対する共済金の早期支払い等の実施要請 (5) 水田経営所得安定対策の手續期限の延長等、国の特例措置の実施</p> <p>2 農地・農業用施設関係 (1) かんがい不能な水田に対するポンプ設置等による応急措置の実施 (2) 取水量が減少しているかんがい区域では、輪番による通水で対応 (3) 復旧予算の編成(6月補正、団体営農地等災害復旧事業等638,935千円) (4) 被害状況調査や復旧計画策定等のため、農業土木技術職員を一関市、奥州市へ派遣</p> <p>3 農業復興支援体制の整備 奥州及び一関地域に農業改良普及センターを主体とした「農業復興支援チーム」を設置し、地域の農業の復旧と新たな産地づくりなど、地域農業の復興に向けた支援活動を展開</p> <p>4 林業関係 〔林地崩壊〕 (1) 国による直轄地すべり防止対策関連緊急事業(一関市市野々原地区)、災害関連緊急治山事業(一関市巖美町、奥州市衣川区)等の復旧事業の実施決定 (2) 復旧予算の編成(6月補正、治山事業費等2,190,502千円) (3) 二次災害防止のための崩落地への土石流センサー等の設置(土石流センサー:国、県11箇所) 〔林業施設〕 復旧予算の編成(6月補正、治山災害復旧事業57,222千円) 〔林産物〕 菌床しいたけ栽培農家に対する技術緊急情報の発行等による適正な温度管理等の技術指導の実施</p>
<p>県土整備部 〔県土整備企画室〕 内線 5846</p>	<p>〔道路〕 「第1回平成20年岩手・宮城内陸地震に係る国道342号災害復旧技術検討会」を開催(本日13:30～15:30) < 議事 > ・今後のスケジュールについて ・被害状況及び調査計画について ・検討課題について</p> <p>全面通行止め 6路線6区間 [国道342号] 一関市巖美町天王～須川温泉(土砂崩落、落橋・祭時大橋) [国道397号] 奥州市胆沢区若柳字市野々～秋田県境(法面崩壊) [主要地方道花巻衣川線] 奥州市衣川区大平(法面崩壊) [主要地方道栗駒衣川線] 奥州市衣川区餅転橋(路面損傷) [主要地方道盛岡横手線] 雫石町南畑～西和賀町沢内川舟(土砂崩落) [一般県道衣川水沢線] 奥州市胆沢区大袋(路面陥没) 片側交互通行 3路線4区間 [国道107号] 西和賀町ゆだ高原駅付近(路面沈下) [主要地方道花巻衣川線] 奥州市衣川区小田(路面損傷) 奥州市胆沢区下鹿合(路面損傷) [一般県道夏油温泉江釣子線] 北上市和賀町内鱒沢(法面崩壊)</p> <p>〔住宅〕 住宅相談窓口の設置等住宅情報提供 19日より今回の地震に対応した住宅相談窓口を6箇所設置。 〔 県南局土木部、一関局土木部、北上局土木部、建築住宅課 〕 県民住宅プラザ(盛岡・水沢) 7月1日～被災住宅の現場で住宅相談に応じる専門家派遣制度を開始。 現地における行政や専門家による特別住宅相談会を開催(予定) ・一関市 7月11日(金)10:00～16:00 巖美公民館 7月25日(火)10:00～16:00 一関市庁舎 ・奥州市 7月15日(火)10:00～16:00 衣川総合支所 7月16日(水)10:00～16:00 胆沢愛宕農業者トレーニングセンター</p>